

ふれあいと交流のまちづくり

令和6年6月9日 日 部 会

役員会



啓発・広報部会



研修部会

総 会

「人権」≡「空気や水」

午前中の雨もやみ、多くの推進委員の参加をいただき、総会を開催することができました。

倉敷市民学習センターの人権担当者から人権学習推進事業について説明があり、その中で「人権とは空気や水のような存在で、なくてはならないものです。空気や水は、少しでも足りなくなると大変苦しくなり、どれほど大切なものに気づかされます。空気も水も人権もなくなってからでは遅いのです。積極的に守り抜く必要があります。」と説明されました。

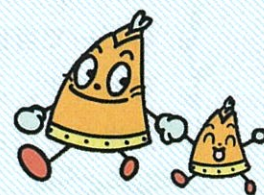


令和6年度 真備中学校区 人権学習推進委員会 役員・部員・委員（敬称略）

役 員	(会長) 土屋 瞳、(副会長) 三宅 健次・小山 治子、(監査) 角田 清美・水川 誠
啓発・広報部会	(部長) 井上 桂一、(副部長) 田村 雅則、神崎 均、百本 恵子、野田 俊明、野口 佳生
研 修 部 会	(部長) 守屋 俊憲、(副部長) 蛭田 純司、岡本 加世子、福長 輝、妹尾 鈴子、高槻 美枝
委 員	井上 瞳、原田 晴菜、井上 詩子、多鹿 結香、増成 恵李芳、日名 淳、白石 優 岸本 弘、蜂谷 真治、川井 久美子、多田 伸志、松田 文恵、松枝 徹、酒賀 範子 津田 由起子、田中 始子、原 正男、石橋 素子、藤原 能成、細川 欣洋、金島 一顯

事務局員

山田 洋一（真備陵南高等学校） 本多 卓郎（事務局長・館長）
丹生谷 一代（倉敷まきび支援学校） 岡田 直利（社会教育啓発指導員）
平松 真里子（真備中学校） 田中 克徳（玉島公民館・啓発指導員）
芳本 真央（二万小学校） 坂本 秀子（指導員・庶務）
浅野 実優（箭田小学校） 河上 順子（指導員）
中塚 雅子（呉妹小学校） 萩原 節子（指導員）



人権だより34号



ふれあい

発行 令和6年10月
真備中学校区
人権学習推進委員会
事務局 倉敷市真備公民館
倉敷市真備町箭田1685
TEL 086-698-0042

R6.9.7 土

合同研修視察



真備中学校区・真備東中学校区合同研修視察で福山に行きました。
ホロコースト記念館では、第2次世界大戦中のヨーロッパで起こったユダヤ人に対する差別と迫害について学びました。600万人の人たちが犠牲になり、その中にアンネ・フランクをはじめ150万人の子どもたちがいたと言われています。ホロコーストの事実を当時の子どもたちの姿を通して学ぶことができました。『平和をつくりだすために、何かをする人になってください』（アンネ・フランクの父、オットー・フランク氏の言葉より）

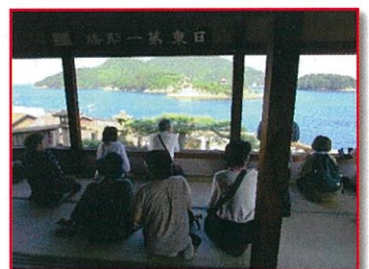


アンネのバラ園の前で

参加者の感想

あまりにも無残で悲惨な過去に言葉を失いました。民族が違うというだけで差別され、虐殺された歴史を絶対に風化させず、語り継いでいかないといけないのだと改めて思いました。

衝撃的な写真や言葉を目の当たりにし、過去のこととして終わらせるのではなく現在の差別や戦争とあわせてこれからもずっと考えていかなくてはいけないと思いました。



鞆の浦散策



第1回 人権教育講演会

R6.9.29 日

「多様な子どもを地域で育てる」

一般社団法人ON-DO 理事長 オンド 高山 和成 先生 たかやま かずなり

真備の子どもたちが元気になり、地域も元気になるために、町ぐるみで一緒に子どもたちを育てていけたらという思いで、今回講演を計画しました。子どもが大人になるまでに必要な3つの経験、「ホンモノに触れる」「親・先生とは異なる考えを知る」「経験を通して自分と向き合う」のお話は、地域で子育てしていくヒントをいただきました。また、講演後は真備町で子どもたちを支援してくださっている5団体（川辺復興プロジェクト あるく、がくまび、地域子育て支援センター 真備かなりや、真備児童館、放課後等デイサービス ホハル）の紹介をしました。



第2回人権教育講演会のお知らせ

日時 令和6年12月15日(日)
13:30~15:00
場所 真備公民館 大集会室
演題 心を紡ぎ、世界をつなぐ
~AMDAの国境を越えた支援を通して~
講師 特定非営利活動法人 AMDA 副理事長
難波 妙 氏

※入場無料 事前予約は不要ですが、人数把握のため、参加希望される方は真備公民館へご連絡ください。

参加者感想

- ・3人の男の子の子育て真っ最中です。一人一人興味・関心が異なりますが、「ホンモノ」に触れる経験を後押ししていけたらと思いました。親と異なる「大人」と接することでその子なりの「気づき」につながればいいなと思いました。
- ・地域の中に多様な居場所があることは、子どもたちにとっても有益ですし、私たち大人にとっても役割、やりがいにつながり、とても有益だと思いました。

箭田小学校 PTA 人権教育講演会 6/1 土

「自分らしく生きたくて」

講師 あやもり とうま 彩森 灯真 氏

保護者アンケートで要望が多かった「性の多様性」をテーマとして取り上げました。当事者である彩森灯真先生をお招きし、保護者や地域の皆様、職員を対象にご講演いただきました。

講師の先生からの、「もしお子さんから、性同一性障がいであることを打ち明けられたらどうする？」という問いに、多くの方が「認めたい。」と回答し、性的マイノリティに対する理解の裾野が、広がっていることを感じました。講演の最後には、「男だから女だからというのではなく、『あなた』だから『わたし』だからという視点で考えてほしい。

『あなたはあなたのままでいい…』と一番の味方になってあげてください。」とお話になり、わたしたち参加者は、一人一人の存在そのものが尊重される家庭・学校・社会であってほしいという熱い思いを受け取りました。



人権図書コーナー

公民館1階ロビーの一角に、人権図書コーナーを設置しました。SDGs、人種差別、ハンセン病等の本を用意しました。まだ、冊数は少ないですが、少しずつ増やしていく予定です。子ども向けの絵本もあります。様々な人権を考えるきっかけになることを願っています。



ロビーで自由に閲覧ができ、貸出しも可能です。ご希望の方は事務室までお声掛けください。

倉敷まきび支援学校

奉仕活動 R.9.11 水

